本事業ではオプトロニクスクラスターの創成を目指し、第I期および第II期成果の事業化に向けて産学共同研究はもとより、独自の取り組みとして主に地域企業や研究者を対象とした事業を推進します。

オプトロニクス技術事業化研究会

第 I 期の研究成果と第 II 期の研究開発テーマを活用し、企業や企業間連携による新事業の創出を図ります。第 I 期の「イメージング技術事業化研究会」を拡大した「オプトロニクス技術事業化研究会」(平成 22 年度末現在 220 社)を組織し、オプトロニクス分野での事業化を展開しています。研究会では、研究成果を活用した製品化が期待されるテーマについて、分科会活動を展開し、グループによる研究開発コンソーシアムや製品開発プロジェクトの立ち上げ等、事業化・製品化を目指します。また、人材育成事業として、国内外からオプトロニクス技術に関する先進的な研究者を招へいし、専門技術研究会や画像処理技術、光学設計技術等についての講座を開催します。

共同研究企業



全体会

オプトロニクス関連 の情報提供、講座、セ ミナー、試作品紹介 フォーラムの開催

分科会

研究開発成果(プロトタイプ 等)の事業化に向けた活動 強化(シーズとニーズのマッ チング等による具体的な事 業化案の検討)

ワーキンググループ

事業化プロジェクトの 立ち上げと事業化推進

早期事業化



- ◆研究会参画企業による第I期、第II期 成果等の事業化
- 成果等の事業化 ◆共同研究成果の強化・拡大のための 新たな共同研究支援 等
- ·国(資金支援等)
- ·静岡県(資金支援等)
- ·浜松市(資金支援等)
- ·地域産業支援機関
- (マッチング・販路支援)
- ・地域金融機関(資金・マッチング支援)



試作品紹介フォーラムの開催



講座の開催



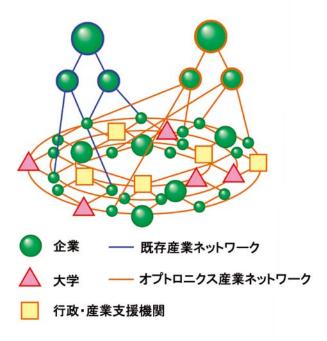
セミナーの開催



ワーキンググループにて検討

浜松イノベーション・マネジメントシステムの構築

本地域に輸送用機械、楽器、繊維などの既存産業とオプトロニクス産業の融合による価値連鎖、国際競争力のある新しい持続的イノベーション・マネジメントシステムを構築するため、「浜松イノベーション・マネジメントシステムの開発(平成19年度~平成21年度 研究代表者:東京大学松島克守教授、坂田一郎教授)」を行いました。



今後は、地域企業のネットワーク分析の結果をもとに、「地域内の産学官ネットワークの更なる強化=付加価値の共有」、「世界販路開拓に向けたWebシステム「テクノNETはままつ」の構築=地域内企業情報の共有と情報発信」を行い、輸送用機械に代表される中核企業を中心とした既存ピラミッド型ネットワークとオプトロニクス産業における産・学・官による網の目のようなアメー

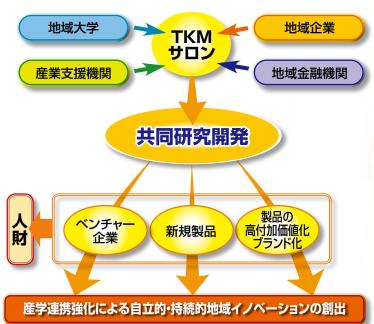


バ型ネットワークとが融合するイノベーションクラスターの創出を目指しています。

「テクノNETはままつ」

TKM(共に語る未来)サロン

地域内の産・学・官がお互いを知り、シーズとニーズが融合することで、産学連携=共同研究等の取組みを活発化し、新商品、製品の高付加価値化、ベンチャー企業、人材が創出される自立・持続可能なイノベーション社会を構築するきっかけの場として「TKM(共に語る未来)サロン」を開催しています。



●直接出会い・話し合う場。

大学と大学、大学と企業、企業と企業…地域と地域それぞれの融合(マッチング)

●行けば何かを得られる場。

情報、ビジネスパートナー、ネットワーク 何かを得るから継続できる

●お互いを知り、**一緒に何かを始める**場。

共同研究、共同開発 何か新しいことを始めることで何か(付加価値)が生まれる





LUSTER